

◀■しづだい産学連携メールマガジンVol. 14

2009年3月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報を届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「地域から広域的産学連携展開への戦略」を開催します
2. 「地域イノベーションの創出に向けた産学連携戦略」を開催します
3. 「東海iNET新技術説明会」を開催します
4. 第51回『産学官交流』講演会・交流会のご案内
5. 静岡新産業集積クラスターホームページ新設のご案内

---

1. 「地域から広域的産学連携展開への戦略」を開催します

～ 静岡大学産学連携レビュー in Tokyo ～

【文部科学省 産学官連携戦略展開事業 戰略展開プログラム】

日時 2009年3月18日 (水) 14:00~16:30  
会場 東京国際フォーラム ガラス棟7階 G701  
主催 国立大学法人静岡大学、文部科学省、東海iNET  
共催 国際・大学知財本部コンソーシアム  
内容 ○発表 14:10~14:40  
「地域大学とグローバル企業の連携への課題と提案」  
ヤマハ発動機株式会社 取締役 鈴木正人氏  
○発表 14:40~15:10  
「静岡大学の共同研究の評価」  
静岡大学イノベーション共同研究センターNEDOフェロー 関雄二  
静岡大学イノベーション共同研究センター  
産学連携プロデューサー 岩澤一馬  
○発表 15:30~16:30  
「日本の大学における産学連携活動に対する評価と提案  
— 海外への展開を含めて」  
静岡大学イノベーション共同研究センター長、教授 木村雅和  
【ビデオ放映】  
Ocean TOMO LLCディレクター Dipanjan Nag, Ph. D., MBA  
参加費 無料  
定員 80名 (先着順)  
申込締切 2009年3月16日 (月)  
詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no64.html>  
問合先 静岡大学知的財産本部  
TEL 053-478-1414

---

2. 「地域イノベーションの創出に向けた産学連携戦略」を開催します

～ 静岡大学産学連携レビュー in Hamamatsu ～

【文部科学省 産学官連携戦略展開事業 戰略展開プログラム】

日時 2009年3月19日 (木) 14:30~17:00  
会場 オークラアクティシティホテル浜松3階 メイフェア  
主催 国立大学法人静岡大学、文部科学省、東海iNET  
内容 ○発表 14:40~15:10  
「地域大学とグローバル企業の連携への課題と提案」  
ヤマハ発動機株式会社 取締役 鈴木正人氏

○発表 15:10~15:40

「静岡大学の共同研究の評価」

静岡大学イノベーション共同研究センターNEDOフェロー 関雄二

静岡大学イノベーション共同研究センター

産学連携プロデューサー 岩澤一馬

○発表 16:00~17:00

「日本の大学における産学連携活動に対する評価と提案

— 海外への展開を含めて」

静岡大学イノベーション共同研究センター長、教授 木村雅和

【ビデオ放映】

Ocean TOMO LLCディレクター Dipanjan Nag, Ph. D., MBA

参加費 無料

定員 50名（先着順）

申込締切 2009年3月16日（月）

詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/center/eventlog/no65.html>

問合先 静岡大学知的財産本部

TEL 053-478-1414

---

### 3. 「東海iNET新技術説明会」を開催します

【文部科学省 産学官連携戦略展開事業 戰略展開プログラム】

日時 2009年3月27日（金）

会場 科学技術振興機構JSTホール（東京：市ヶ谷）

主催 静岡大学、豊橋技術科学大学、静岡県立大学、静岡理工科大学、  
豊田工業高等専門学校、浜松医科大学、沼津工業高等専門学校、  
科学技術振興機構

プログラム

1 HBsペプチド融合体—多様なワクチン創生のための素材—

浜松医科大学 医学部 感染症学感染機構解析部門 教授 上田 啓次

2 悪性脳腫瘍治療用の遺伝子発現ベクター細胞の開発

浜松医科大学 医学部 脳神経外科 教授 難波 宏樹

3 キトサン高分子界面活性剤を用いた化粧品及び機能性不織布の開発

静岡県立大学 環境科学研究所 教授 吉岡 寿

4 超高速読み出し可能な、可動ミラーアレイによるホログラムメモリ読み出し

静岡大学 工学部 電気電子工学科 准教授 渡邊 実

5 光干渉と三角測量を複合して用いる高精度広範囲な距離センサ

豊田工業高等専門学校 情報工学科 教授 松田 文夫

6 市販PCの処理速度でも映像ブレをリアルタイムで補正

静岡大学 大学院工学研究科 機械工学専攻 教授 三浦 憲二郎

7 光触媒を共存させ、紫外線もしくはUV-LED光照射によるトルエン類の  
直接酸化から芳香族アルデヒド類を製造する技術

沼津工業高等専門学校 物質工学科 教授 押川 達夫

8 ナノ複合粒子の新規製法とそれを用いた複合材の製造方法

豊橋技術科学大学 工学部 物質工学系 助教 武藤 浩行

9 窒素プラズマを用いた窒化物半導体の溶液成長

静岡理工科大学 理工学部 電気電子工学科 准教授 小澤 哲夫

10 医農薬品開発を指向した含フッ素有機化合物の新規合成法

豊橋技術科学大学 工学部 物質工学系 助教 柴富 一孝

参加費 無料

詳細/申込 <http://www.jstshingi.jp/tokai-i/index.html>

問合先 静岡大学知的財産本部

TEL 053-478-1414

---

### 4. 第51回『産学官交流』講演会・交流会のご案内

日時 2009年4月21日（火）17:00～19:30  
会場 清水商工会議所（産業情報プラザ3階）  
主催 静岡市清水産業・情報プラザ  
共催 しみず新産業開発振興機構  
内容 1. 静岡大学工学部機械工学科 早川邦夫 准教授  
『塑性加工工具の損傷・破壊の予知技術の開発』  
2. 静岡大学工学部物質工学科 前田康久 准教授  
『光電極プロセスによる水の浄化と水溶液中の化学物質の検出』  
※ポスター展示もあります。  
参加費 無料（交流・懇親会参加者は1,000円）  
定員 60名  
申込締切 4月14日（仮）  
問合せ 清水商工会議所新産業振興室 担当 相磯、赤堀、水越  
TEL（代）054-355-5400

---

## 5. 静岡新産業集積クラスターホームページ新設のご案内

静岡県では、現在、次世代のリーディング産業の集積を目的として、県東部でファルマバレー（医療・健康関連産業）、県中部でフーズ・サイエンスヒルズ（食品関連産業）、県西部でフォトンバレー（光・電子技術関連産業）の3つの産業集積プロジェクトを「静岡新産業集積クラスター」として推進しています。これらのプロジェクトの中から、地元中小企業のものづくり技術を活かした製品が、次々に生まれてきています。この度、「静岡新産業集積クラスター」のホームページを新設し紹介することとしました。ご覧いただければ幸いです。

日本語

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-580/index.html>

英語

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-580/english/index.html>

---

### 《 みんなのコラム 》

産学連携の量的、質的拡大のために何をなすべきか。これが今、我々コーディネータに課せられた課題である。その回答は、一言で言えば「共同研究から良い成果を得ること」に尽きるであろう。

かつて企業側の立場であった時は、①企業が大学研究者のポテンシャルを見抜く②企業の求める成果を大学のシーズから引き出す、ことが良い成果を得るために産学連携の基本であると思っていた。文言上この議論が適切であるか否かはともかくとして、注意すべきは、産学連携が企業と大学の利益争奪戦であってはならない、ということである。

そのために、大学と企業が共同研究という“土俵の場”で、お互い疑心暗鬼になることなく討論の機会を増やし、双方が「win/winの関係を維持する」ことが産学連携の拡大に必要不可欠である、と常日頃考えている次第である。  
(記：杉山登英)

---

### 《 編集後記 》

静岡大学は、今年度、組織評価（自己評価・外部評価）を行い、今月初旬その結果を公表しました。大学における評価の文化の始まりは平成3年。大学は、独自の教育課程を編成できるようになるなど「自由」を手にしたと同時に、自己点検と評価を行う「責任」も課せられました。その後、評価の客観性・組織性を求めて検討を重ね、今回は静岡大学独自の『評価の基準と観点』に従って全学的に評価

を行いました。

昨今では、省庁の指針や様々な場で、「評価」や「レビュー」を行なうことが求められていますが、イノベーション共同研究センターも、今回初めての試みとして「静岡大学産学連携レビュー」で3つの評価結果を報告します。4月から始まる新年度もより良いコラボレーションができるように、この場をぜひ皆様からの“第四の評価”をいただく会にできればと願っています。

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
購読中止のご連絡は、sangakukoho5Ocjr.shizuoka.ac.jp まで  
お願いします。 (↑送付の際は○欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

### 発行者

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL053-478-1414

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —  
by Copyright(c) 2008-2009 Innovation and Joint Research Center,  
Shizuoka University. All rights reserved